

総合政策部

ページ	説明ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和6年度担当課)
78	1	110301	総務費	一般管理費	行政推進事業	秘書広報課
78	2	112701	総務費	一般管理費	ふるさと応援事業	魅力発信課
78	3	115301	総務費	一般管理費	マイナポイント利用環境整備事業	行政改革課 (情報政策課)
82	4	070701	総務費	広報費	沖島光通信ケーブル維持管理事業	行政改革課 (情報政策課)
82	5	112901	総務費	広報費	広聴広報活動事業	秘書広報課
84	6	111901	総務費	文書管理費	市史編纂事業	文化振興課
84	7	090401	総務費	財産管理費	旧マルチメディアセンター施設維持管理事業	行政改革課 (情報政策課)
86	8	112201	総務費	企画費	行政改革推進事業	行政改革課
86	9	113101	総務費	企画費	企画事務事業	企画課
86	10	113201	総務費	企画費	政策推進事業	企画課
86	11	113202	総務費	企画費	広域婚活推進事業	企画課
86	12	113203	総務費	企画費	S D G s 推進事業	企画課
86	13	113204	総務費	企画費	西の湖協働推進事業	企画課
86	14	113205	総務費	企画費	結婚新生活支援事業	企画課
86	15	113206	総務費	企画費	総合計画策定事業	企画課
86	16	113501	総務費	企画費	まち・ひと・しごと創生事業	企画課
86	17	113601	総務費	企画費	シティプロモーション事業	魅力発信課
86	18	113901	総務費	企画費	オフィス改革推進事業	行政改革課
86	19	114601	総務費	企画費	オープンガバナンス推進事業	企画課
86	20	115701	総務費	企画費	脱炭素実行計画策定事業	企画課
88	21	070601	総務費	情報管理費	電算システム維持管理事業	行政改革課 (情報政策課)
88	22	112401	総務費	情報管理費	デジタル行政推進事業	行政改革課 (情報政策課)
88	23	115201	総務費	情報管理費	情報管理事業	行政改革課 (情報政策課)
88	24	115501	総務費	情報管理費	スマートフォン教室事業	行政改革課 (情報政策課)
88	25	115601	総務費	情報管理費	基幹系おうみ自治体クラウド管理事業	行政改革課 (情報政策課)
88	26	020107	総務費	自治振興費	コミュニティセンター長等報酬	まちづくり協働課
88	27	070801	総務費	自治振興費	コミュニティセンター維持管理事業	まちづくり協働課
88	28	113301	総務費	自治振興費	沖島離島振興事業	企画課
88	29	116001	総務費	自治振興費	コミュニティセンター運営事業	まちづくり協働課
88	30	116101	総務費	自治振興費	自治振興推進事業	まちづくり協働課
88	31	116201	総務費	自治振興費	地域まちづくり支援事業	まちづくり協働課
88	32	116202	総務費	自治振興費	がんばる自治コミュニティ事業	まちづくり協働課
88	33	116203	総務費	自治振興費	コミュニティ助成事業	まちづくり協働課
88	34	116601	総務費	自治振興費	N P O 活動促進事業	まちづくり協働課
94	35	117901	総務費	国際交流費	国際交流・多文化共生推進事業	まちづくり協働課
94	36	960107	総務費	基金費	ふるさと応援基金積立金	魅力発信課
94	37	960108	総務費	基金費	ふるさと創生基金積立金	企画課
94	38	118301	総務費	諸費	家計応援商品券配布事業	市民生活・産業支援室
98	39	170301	総務費	戸籍住民基本台帳費	書かない窓口事業	窓口サービス準備室 (行政改革課)
102	40	183101	総務費	統計調査総務費	統計調査推進事業	企画課

総合政策部

ページ	説明ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和6年度担当課)
102	41	184111	総務費	統計調査事業費	農林業センサス事業	企画課
102	42	184112	総務費	統計調査事業費	国勢調査事業	企画課
102	43	184113	総務費	統計調査事業費	住宅・土地統計調査事業	企画課
102	44	184114	総務費	統計調査事業費	経済センサス事業	企画課
142	45	075201	商工費	観光費	観光施設等施設維持管理事業	観光政策課
142	46	415101	商工費	観光費	観光振興事業	観光政策課
142	47	415201	商工費	観光費	広域観光および友好都市交流事業	観光政策課
142	48	415301	商工費	観光費	観光ブランディング推進事業	観光政策課
142	49	741201	商工費	観光費	観光地域振興無電柱化推進事業	文化振興課
168	50	601101	教育費	社会教育総務費	ふるさと文化振興事業	文化振興課
168	51	601301	教育費	社会教育総務費	アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業	文化振興課
170	52	082501	教育費	文化財保護費	市史・埋文施設維持管理事業	文化振興課
170	53	082502	教育費	文化財保護費	匠の里施設維持管理事業	文化振興課
170	54	602101	教育費	文化財保護費	重文景観保存活用事業	文化振興課
170	55	602201	教育費	文化財保護費	選択無形文化財保存事業	文化振興課
170	56	602301	教育費	文化財保護費	文化財保護事務事業	文化振興課
170	57	602401	教育費	文化財保護費	町なみ保存推進事業	文化振興課
170	58	602501	教育費	文化財保護費	文化財保存活用事業	文化振興課
170	59	783101	教育費	文化財保護費	指定文化財保存事業	文化振興課
170	60	783201	教育費	文化財保護費	伝統的建造物群保存事業	文化振興課
170	61	960122	教育費	文化財保護費	歴史まちづくり基金積立金	文化振興課
172	62	603101	教育費	文化財調査費	文化財調査事務事業	文化振興課
172	63	603201	教育費	文化財調査費	埋蔵文化財発掘調査事業	文化振興課
172	64	603501	教育費	埋蔵文化財発掘調査受託事業費	埋蔵文化財発掘調査受託事業	文化振興課
176	65	606151	教育費	文化振興費	安土文芸の郷公園管理振興事業	文化振興課
176	66	784202	教育費	文化振興費	文芸セミナリヨ等長寿命化整備事業	文化振興課
176	67	950209	教育費	文化振興費	文化会館事業特別会計繰出金	文化振興課
178	68	082801	教育費	文化施設費	旧伊庭家住宅施設維持管理事業	文化振興課
178	69	606301	教育費	文化施設費	安土城跡ガイダンス施設運営管理事業	文化振興課
178	70	606501	教育費	文化施設費	資料館及びかわらミュージアム運営管理事業	文化振興課
178	71	784101	教育費	文化施設費	文化会館整備事業	文化振興課

事業CD		110301		事業名	行政推進事業	所管課	秘書広報課																					
会計		一般会計				決算書頁	78	資料	無																			
款	02	総務費		＜成果・実績＞ 市長が効率よく業務遂行できるよう日程を管理し、必要に応じ関係者との調整や事前の情報収集等を図りました。市政に係る重要な事項については、国・県・関係機関から情報収集を行い、庁内関係部課との協議、調整を進めました。 全国や近畿など広域で招集される全国市長会、近畿市長会など市長出席による情報収集や意見交換を積極的に実施することができました。国等への要望活動についても面談により実施し、市の課題解決や予算確保を進めるとともに、施策の動向についての意見交換を行うことが出来ました。 <table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>国・県・関係機関等からの情報収集による地方自治の推進や要望活動の実施</td><td>14</td><td>15</td><td>回</td></tr><tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ＜課題、今後の取り組み＞ 市長業務が円滑に執行できるよう、公務内容の事前収集、連絡調整を確実に行うなど職務サポート体制の更なる強化を図る必要があります。複合的、多層的な行政課題が増加し、複数の所管が協力して対応するケースが増えており、市の窓口としての対応、所管同士をつなぐ役割が求められています。限られたリソースを有効的に活用するため、ICTの推進等による業務改善にも取り組んでいく必要があります。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	国・県・関係機関等からの情報収集による地方自治の推進や要望活動の実施	14	15	回	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度						単位																			
①	国・県・関係機関等からの情報収集による地方自治の推進や要望活動の実施	14	15						回																			
②																												
③																												
項	01	総務管理費																										
目	01	一般管理費																										
予算額(千円)		12,049																										
決算額(千円)		11,349																										
(前年決算		9,003)																										
※主な特定財源																												
国庫支出金																												
県支出金																												
＜事業概要＞																												
市長の公務日程の調整をはじめ、関係諸団体・関係者との連携を図り、市政運営を円滑に進めました。市政に係る重要な事項に関し、国・県・関係機関等から情報収集を行い、庁内関係部課との協議、調整を進めました。																												
1																												
事業CD		112701		事業名	ふるさと応援事業	所管課	魅力発信課																					
会計		一般会計				決算書頁	78	資料	無																			
款	02	総務費		＜成果・実績＞ ふるさと納税などを通して全国に「近江八幡市」のPRを行うとともに、シティプロモーションを行い、ファンづくりに取り組みました。 これらの取組やふるさと納税制度の認知度の向上により、結果として本市の人口を大幅に超える約17万人の寄附者から応援をいただき、自主財源の充実を図ることができました。また、併せて、寄附件数及び金額の増加に伴う返礼品の申込の増加により、地場産品及び地域産業の振興等、地域の活性化に寄与することができました。 【令和5年度の寄附金使途指定割合】 1.自然環境及び地域の歴史的遺産の保全・・・18.5% 2.医療及び福祉の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・10.6% 3.教育及び文化の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・18.6% 4.産業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・4.6% 5.安全及び安心の都市づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・3.3% 6.市長が特に必要と認める事業・・・・・・・・・・・・・・・・・44.4% <table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>ふるさと応援寄附金の受付</td><td>155,970</td><td>170,501</td><td>件</td></tr><tr><td>②</td><td>返礼品の調達・送付</td><td>677</td><td>862</td><td>品目</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ＜課題、今後の取り組み＞ 本市の魅力ある地域資源を全国に向け発信し、本市に対する認知と関心を高め、ふるさと納税の推進による自主財源の充実とシティプロモーションの推進による地域ブランド化等、持続可能な地域循環型による本市全体の地域活性化を図るとともに、関係人口の増加を図ります。 総務省が定める基準に基づく、ふるさと納税の健全な推進により、本市の魅力を全国に伝え、関係人口を増やし、最終的に移住定住に繋げていけるような多角的、総合的な取組を実施します。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	ふるさと応援寄附金の受付	155,970	170,501	件	②	返礼品の調達・送付	677	862	品目	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度						単位																			
①	ふるさと応援寄附金の受付	155,970	170,501						件																			
②	返礼品の調達・送付	677	862						品目																			
③																												
項	01	総務管理費																										
目	01	一般管理費																										
予算額(千円)		8,599,670																										
決算額(千円)		8,484,942																										
(前年決算		7,667,466)																										
※主な特定財源																												
国庫支出金																												
県支出金																												
＜事業概要＞																												
ふるさと納税による寄附を推進することで、自主財源の充実を図り、併せて、シティプロモーションの推進を図ることにより、「近江八幡市」の認知度アップや特産品のブランド力の向上、市内産業の振興も含め、地域循環型による本市全体の活性化をめざします。																												
2																												

事業CD		115301		事業名	マイナポイント利用環境整備事業	所管課		行政改革課																						
会計		一般会計				決算書頁		78	資料	無																				
款	02	総務費				<成果・実績> マイナポイント制度が延長されたことから、マイナポイント推進事務員を4名配置し、予約・申込手続きの補助の他、マイナポイント制度の周知および市民からの問い合わせへ対応し、マイナポイントの取得・利用の促進を図りました。当初前年度で終了する予定でしたが、国がポイント申込の手続きが出来ていないマイナンバーカード取得者向けに期限を延長したため、前年度に引き続き支援を行いました。																								
項	01	総務管理費																												
目	01	一般管理費																												
予算額(千円)				2,206		<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>手続きの補助、制度の周知</td><td>21,762</td><td>6,139</td><td>人</td></tr><tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	手続きの補助、制度の周知	21,762	6,139	人	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位																										
①	手続きの補助、制度の周知	21,762	6,139	人																										
②																														
③																														
決算額(千円)				2,204																										
(前年決算				4,442																										
※主な特定財源																														
国庫支出金				10/10																										
県支出金																														
<事業概要> 自分でマイナポイント申し込みできない方向けに、端末と事務員を配置して取得・利用促進を実施しました。				<課題、今後の取り組み> マイナポイントの申込みは、令和5年9月30日で終了しました。																										
3																														
事業CD		070701		事業名	沖島光通信ケーブル維持管理事業	所管課		行政改革課																						
会計		一般会計				決算書頁		82	資料	無																				
款	02	総務費				<成果・実績> 総合医療センター・沖島間の遠隔医療用光通信ケーブルの維持管理等を行いました。																								
項	01	総務管理費																												
目	02	広報費																												
予算額(千円)				1,034		<課題、今後の取り組み> 湖底ケーブルの老朽化が進み、今後の通信経路の検討が必要です。																								
決算額(千円)				833																										
(前年決算				833																										
※主な特定財源																														
国庫支出金																														
県支出金																														
<事業概要> 市で整備した光ケーブルの維持管理と遠隔医療用の光通信ケーブルの維持管理を行いました。																														
4																														

事業CD	112901	事業名	広聴広報活動事業	所管課	秘書広報課		
会計	一般会計			決算書頁	82	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> 広報紙については、県広報協会や毎日文化センターなどのコンクールを通じてアドバイスを受け、誰もが見やすく読みやすい紙面になるよう工夫しています。県広報コンクールにおいて広報紙の部で知事賞を、広報写真の部で協会長賞を受賞し、近畿市町村広報紙コンクールにおいて優良賞を受賞しました。 ケーブルテレビによる広報番組については、市の取り組みや各所属からの情報を分かりやすく放送しました。また、未加入者も視聴できるようYouTubeで配信しています。 ホームページシステムについては、必要な情報をリアルタイムかつ継続的に提供するため、閲覧環境の向上と維持管理を行いました。また、SNSにおいても写真を効果的に使用し、広く情報発信を行いました。 定例記者会見の開催により、報道機関に対し市政情報の発信が即時にでき、双方が意見交換することで正確かつ円滑に情報発信をすることができました。				
項	01	総務管理費					
目	02	広報費					
予算額(千円)		41,752					
決算額(千円)		41,430					
(前年決算		35,322	)				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要> 広報おうみはちまんやケーブルテレビの広報番組などを通じて、市の施策や各種事業の推進、啓発を図るとともに、市民活動の促進を図りました。							
5							

事業CD	111901	事業名	市史編纂事業	所管課	文化振興課		
会計	一般会計			決算書頁	84	資料	有
款	02	総務費	<成果・実績> 『近江八幡の歴史』普及啓発活動として、かわらミュージアムにて企画展「蒲生郡古墨張り混ぜ屏風」展、「ひいなのはほえみ」展を開催しました。 講座依頼に4件対応し、5媒体18件で市史の情報発信を行いました。 市内に残る文書群 3件3279点の目録作成・写真撮影を行ったほか、令和5年度廃棄対象文書より、近江八幡の歴史に重要な文書の選別作業を行いました。				
項	01	総務管理費					
目	05	文書管理費					
予算額(千円)		7,602					
決算額(千円)		7,566					
(前年決算		5,656	)				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要> 公文書館機能への移行のため、収集した歴史資料等の整理を行いました。また、『近江八幡の歴史』の普及啓発を進めました。							
6							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 広報おうみはちまんの発行	12	12	回
② 広報番組「テレはち」の制作及び録画放送	52	52	本
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 『近江八幡の歴史』情報発信	17	18	回
② 『近江八幡の歴史』普及啓発	3	2	回
③ 『近江八幡の歴史』の頒布	45	51	冊

事業CD	111901	事業名	市史編纂事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	--------	-----	-------

新春名品展

蒲生郡古墨張り混ぜ屏風

「玉堂風流/図」玉英（日野町）

2024年1月10日（土）〜2月25日（日）

会場 かわらミュージアム企画展示室

開館時間 9:00〜17:00（入館は16:30まで）

休館日 月曜日・祝祭日の翌日（2月24日休館）

入館料 一般300円 / 小・中学生200円 市団休（10名以上）は50円引き

かわらミュージアム

「蒲生郡古墨張り混ぜ屏風」展チラシと展示風景

事業CD		090401	事業名	旧マルチメディアセンター施設維持管理事業	所管課	行政改革課		
会計		一般会計			決算書頁	84	資料	無
款	02	総務費		<成果・実績> 旧マルチメディアセンター施設（現在は新庁舎移転のための行政文書の一時保管場所として使用）の維持管理を行いました。 <事業概要> 旧マルチメディアセンターの維持管理を実施しました。 <課題、今後の取り組み> 当施設は老朽化のため、新庁舎完成後は除却する予定ですが、壁タイルの落下や敷地内の樹木、雑草の適切な管理が引き続き必要です。さらに、大雨時に雨漏りする個所もあり逐次の対処が必要な状況です。				
項	01	総務管理費						
目	06	財産管理費						
予算額(千円)		2,888						
決算額(千円)		2,771						
(前年決算		1,972)						
※主な特定財源								
国庫支出金								
県支出金								
<事業概要>								
旧マルチメディアセンターの維持管理を実施しました。								
<課題、今後の取り組み>								
当施設は老朽化のため、新庁舎完成後は除却する予定ですが、壁タイルの落下や敷地内の樹木、雑草の適切な管理が引き続き必要です。さらに、大雨時に雨漏りする個所もあり逐次の対処が必要な状況です。								

7

事業CD		112201	事業名	行政改革推進事業	所管課	行政改革課																					
会計		一般会計			決算書頁	86	資料	有																			
款	02	総務費	<成果・実績> 行政経営改革実施計画(令和2年度策定)の進捗状況を行政改革推進委員会で審査しました。 指定管理者制度について、有識者等による審査会において専門的見地から3施設(駅南総合スポーツ施設<サン・ビレッジ近江八幡>、安土城郭資料館、舟だまり)の指定管理者を選定しました。 指定管理施設として継続することにより、民間事業者等のノウハウを活かした公共施設の管理運営やサービスの提供に寄与することができました。 公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の進捗状況の確認に加えて、総務省と地方公共団体金融機構の共同事業である地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザーを活用して、公共施設の日常管理や指定管理者制度の運営に関する勉強会や研修会を実施しました。 デジタル化を前提とした変革を推進するために、オンラインのDX人材育成研修を実施しました。また、「これからの働き方研修」を4回実施しました。																								
項	01	総務管理費																									
目	07	企画費																									
予算額(千円)		2,579																									
決算額(千円)		2,380																									
(前年決算		3,582																									
※主な特定財源			<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>行政改革推進委員会の開催回数</td><td>2</td><td>2</td><td>回</td></tr><tr><td>②</td><td>経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザー活用回数</td><td>8</td><td>5</td><td>回</td></tr><tr><td>③</td><td>DX人材育成研修</td><td>80</td><td>51</td><td>人</td></tr></table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	行政改革推進委員会の開催回数	2	2	回	②	経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザー活用回数	8	5	回	③	DX人材育成研修	80	51	人
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度						令和5年度	単位																		
①	行政改革推進委員会の開催回数	2						2	回																		
②	経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザー活用回数	8						5	回																		
③	DX人材育成研修	80	51	人																							
国庫支出金																											
県支出金																											
<事業概要> 行政経営改革指針等の進捗を管理し、時勢に応じた行政改革を着実に推進しました。また、働き方改革の検討及び実施により、一層の業務改革を図りました。																											
8																											
事業CD		112201	事業名	行政改革推進事業	所管課	行政改革課																					
「これからの働き方研修」(内訳)																											
テーマ				対象	参加人数																						
「迅速な意思決定、行動力によるイノベーション施策」、「部下のエンゲージメントを高めるための取組」				部長級、次長級、課長級職員	44人																						
「自分の力で市役所の施策を変える方法」				副主幹級以下職員	41人																						
「やるべき仕事をやりたい仕事へ」、「事業の企画から運用までのプロセスを工夫する」				20代、30代の職員	43人																						
「オフィス改革の効果や工夫した点、苦労した点等を学ぶ」、「働き方を変える意識を醸成し、新庁舎での働き方をイメージする」				主査、係長級の職員	26人																						

事業CD	113101	事業名	企画事務事業	所管課	企画課
会計	一般会計			決算書頁	86資料無
款	02総務費	<成果・実績>			
項	01総務管理費	○国・県等への要望調整			
目	07企画費	定例となる県市長会要望、近畿市長会要望、JR要望、県知事・副知事要望等について、取りまとめを行い、要望活動を行いました。			
予算額(千円)	713				
決算額(千円)	600				
(前年決算	585)				
※主な特定財源					
国庫支出金					
県支出金					
<事業概要>					
市の施策立案の資料となる情報整理や関係機関との連携を行い、各事業が市の方針に基づくものとなるよう調整を行うことで円滑な事業展開を図りました。					
9					
事業CD	113201	事業名	政策推進事業	所管課	企画課
会計	一般会計			決算書頁	86資料無
款	02総務費	<成果・実績>			
項	01総務管理費	【近江八幡市総合教育会議】			
目	07企画費	近江八幡市総合教育会議を1回開催し、「子どもの読書活動」について議論しました。同日、はちっこぶっく号ミニが岡山コミュニティセンターを訪問されたことから、岡山紫雲こども園の園児が本を借りる様子や図書館職員による読み聞かせの視察を行いました。			
予算額(千円)	240				
決算額(千円)	204				
(前年決算	5,014)				
※主な特定財源					
国庫支出金					
県支出金					
<事業概要>					
市の重要施策の推進と課題解決のための総合調整を行うとともに、関係自治体との連携も行いながら、より円滑な政策推進を図りました。					
10					

事業CD	113202	事業名	広域婚活推進事業	所管課	企画課		
会計	一般会計			決算書頁	86	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> ①東近江地域2市2町と連携し婚活イベント「近江愛パーティー2023」をR5.9.10に開催しました。 参加者数:40名(内市民13名) カップル成立数:9組18名(内市民6名) ②富士宮市と合同で夫婦都市合同婚活事業として婚活イベント「夫婦都市で紡ぐ赤い糸婚」をR5.10.22に開催しました。 ※本イベントは、夫婦都市提携55周年を記念し開催、R4年度は富士宮市で開催。 参加者数:32名(内市民19名) カップル成立数:7組14名(内市民7名)				
項	01	総務管理費					
目	07	企画費					
予算額(千円)	525	決算額(千円)	523				
(前年決算	388	)					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金		1/2					
<事業概要>							
近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)に記載のある結婚・妊娠・出産を望む人への総合的なサポートのために、関係自治体と連携した婚活事業を実施しました。							
11							

事業CD	113203	事業名	SDGs推進事業	所管課	企画課		
会計	一般会計			決算書頁	86	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> ①出前講座の開催により、SDGsの周知・啓発を図ると共に、相手方のニーズに合わせたテーマ設定とすることにより、日常業務に活かすことのできる学びを提供しました。 ・近江八幡消防署 テーマ:ジェンダー平等 ・近江八幡警察署 テーマ:防災・安全 ②ユニクロ近江八幡店と連携することで、出前講座特別編として子ども向けに衣料の端切れを使ったアップサイクルワークショップを開催しました。 ③県主催SDGs事業である「こどなBASE」と連携し、市内放課後児童クラブ向けに「消費者教育」「学校給食」をテーマとした学習プログラムを提供しました。				
項	01	総務管理費					
目	07	企画費					
予算額(千円)	99	決算額(千円)	53				
(前年決算	417	)					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
SDGsの達成のため、企業、団体、教育機関、市民等と行政がパートナーシップを発揮し、持続可能な近江八幡市の実現に向け連携して取り組む体制を構築しました。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① SDGs出前講座の実施	4	2	回
②			
③			

<課題、今後の取り組み>
「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が2015年に国連で採択されてから約10年、2030年のSDGs目標年まで約5年と迫り、目標達成に向けた具体的なアクション中心にシフトすることが求められます。各分野における本市実施事業や、市民や事業者の取組が一層SDGsの目標達成を意識したものとなるよう、周知啓発にあたってより実践に結び付く内容へと発展させていきます。

12

事業CD		113204		事業名	西の湖協働推進事業	所管課		企画課	
会計		一般会計				決算書頁		86	資料
款	02	総務費		<成果・実績> ・西の湖プラットフォームの構築の推進として、西の湖周辺では、既に多様な事業者・団体が活動していますが、個々に活動を行っている状況であり、活動の可視化、連携・協働が課題であるため、多様な主体が繋がり、地域一体となって西の湖の保全及び活用を進めるため、機運醸成を目的とした交流会を開催しました。 ・西の湖プラットフォーム構築に係る事業の一環として、「西の湖エコロジーフットパスマップ」を作製しました。作製にあたっては、業務委託の上、西の湖エコロジーハイキングを開催し、参加者自身の気づきや地域への愛着を促すとともに、四季折々の魅力や地域の繋がりについて、マップ上での可視化を試みました。					
項	01	総務管理費							
目	07	企画費							
予算額(千円)		645							
決算額(千円)		631							
(前年決算		9							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要> 西の湖を「守り、活かす」ことを基本理念とし、多様な主体を繋ぐプラットフォームの構築等により、地域一体となって賑わいと魅力の創出・定着を進めました。									
13									

事業CD		113205		事業名	結婚新生活支援事業	所管課		企画課	
会計		一般会計				決算書頁		86	資料
款	02	総務費		<成果・実績> 庁内の窓口部署のほか、市内不動産会社や県内の結婚相談所、結婚式場など関係機関にチラシの配架依頼を行い、住民への周知・広報に努めた結果、それら関係機関を通じて事務局へ来られた方も多く、年度当初の支給見込件数を上回ることができました。					
項	01	総務管理費							
目	07	企画費							
予算額(千円)		14,700							
決算額(千円)		12,022							
(前年決算		7,985							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金				2/3					
<事業概要> 近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)に記載のある結婚・妊娠・出産を望む人への総合的なサポートのために、人口の自然増を目標とした結婚支援を行いました。									
14									

事業CD		113206		事業名		総合計画策定事業		所管課		企画課		
会計		一般会計						決算書頁		86	資料	無
款	02	総務費		<成果・実績> 第1次総合計画の中間見直しとして、前期基本計画の点検を実施し、新型コロナウイルス感染症をはじめとする本市を取り巻く社会・経済状況の変化や、新たな課題への対応のため、現状・課題、取組方針、指標などの修正や、DXの推進といった新たな施策の追加を行い、令和6年度から令和10年度までの後期基本計画を策定しました。								
項	01	総務管理費										
目	07	企画費										
予算額(千円)		2,375										
決算額(千円)		2,317										
(前年決算		—)										
※主な特定財源												
国庫支出金												
県支出金												
<事業概要>												
第1次総合計画前期基本計画の計画期間が令和5(2023)年度までとなっていることから、見直しを行い、後期基本計画の策定を行いました。												
15												
事業CD		113501		事業名		まち・ひと・しごと創生事業		所管課		企画課		
会計		一般会計						決算書頁		86	資料	無
款	02	総務費		<成果・実績> ○近江八幡市まち・ひと・しごと創生懇話会 総合戦略に係る事業について、外部委員による効果検証を行う場として、事業実施後の年度末に1回開催しました。対象事業は国のデジ田交付金を活用する2事業（以下1、2）を含む6事業に関し効果検証を行いました。 1オープンガバナンス推進事業（老蘇学区）、2オープンガバナンス推進事業 3関係人口創出事業、4沖島離島振興事業、 5アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業、6体験型事業創出事業 ○地域おこし協力隊活動 旧市街地エリアにて地元商店街の活動に参加しながら、地域活性化に向けた活動に関し業務委託を行いました。また、協力隊員の本市での起業に関し、スタートアップの支援として起業支援補助金を交付し、協力隊員自身の定住や地域活性化にも繋がりました。								
項	01	総務管理費										
目	07	企画費										
予算額(千円)		5,573										
決算額(千円)		5,556										
(前年決算		107)										
※主な特定財源												
国庫支出金												
県支出金												
<事業概要>												
近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる、本市における地方創生施策を推進しました。												
16												

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	市民アンケート調査の回収率	—	55	%
②				
③				

<課題、今後の取り組み>
総合計画の施策目標(めざす姿)の実現に向けた取組がどの程度進んでいるかの確認を行い、見直しを行いながら施策を推進していく必要があります。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	近江八幡市まち・ひと・しごと創生懇話会の開催	1	1	回
②	地域おこし協力隊の任命	1	1	名
③				

<課題、今後の取り組み>
総合計画後期基本計画の策定に伴い、総合計画と総合戦略を統合したことから、評価検証の場についても統合を行う必要があります。

事業CD	114601	事業名	オープンガバナンス推進事業	所管課	企画課		
会計	一般会計			決算書頁	86	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> 多様な地域課題に対応するため、令和5年度は西の湖での取組みを中心として、近江八幡市オープンガバナンスポータルサイトを活用し、エコロジーハイキングの開催報告やチャレンジオープンガバナンス2023のアイデア募集などに活用しました。また、オンラインプラットフォームとして、おうみはちまんオープンガバナンス（LINEオープンチャット）を令和4年度から運用し、令和5年度も引き続き活用しましたが、匿名性により様々な意見が発信される一方で、担当者のファシリテーションに左右されることが大きく、活発な意見交換の場とすることが難しかったことから、運用上のルール見直し等が必要であるとして、令和6年3月末にて、一旦閉鎖しました。				
項	01	総務管理費					
目	07	企画費					
予算額(千円)		2,645					
決算額(千円)		2,328					
(前年決算		1,810					
)							
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金							
<事業概要>							
多様な地域課題に対応するため、市民や事業者と共に進めるまちづくりを実践しました。							
19							

事業CD	115701	事業名	脱炭素実行計画策定事業	所管課	企画課		
会計	一般会計			決算書頁	86	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> 近江八幡市脱炭素推進協議会を開催するほか、学識経験者との協議、庁内関係機関への照会、パブリックコメント等を実施することにより、事業所や各種団体、市民の意見を幅広く反映し、計画における施策を取りまとめました。				
項	01	総務管理費					
目	07	企画費					
予算額(千円)		544					
決算額(千円)		422					
(前年決算		782					
)							
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
2050年カーボンニュートラル社会の実現を目指し、再生可能エネルギー導入目標、二酸化炭素削減目標や脱炭素プロジェクトとその推進体制について、本市の取組方針を策定しました。							
20							

事業CD	070601	事業名	電算システム維持管理事業	所管課	行政改革課																		
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無																
款	02	総務費	<成果・実績> 各種電算システムの安定稼働のための維持管理業務を行いました。主なものを以下に挙げます。 <u>社会保障・税番号制度対応業務</u> 前年度から継続して社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)による地方自治体間等での情報連携がスムーズに行えるように、連携システム及びネットワーク等の適切な管理に努めました。 <u>電子計算機器等にかかる保守対応業務とネットワーク構築業務</u> <u>(出先施設無線LANネットワーク構築)</u> 本庁舎及び南別館では、令和3年度のLGMAN系システム更新の際にLGMAN系及びインターネット系ネットワークを無線化していましたが、出先機関は有線接続のままとなっていました。 この構築によって安土総合支所やひまわり館等の主要な出先施設でも無線ネットワークとなり、会議等で業務用端末を持ち寄ることによる業務効率改善やペーパーレス化に大きく寄与しました。 <table><tr><th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>① マイナンバー対応業務</td><td>1</td><td>1</td><td>件</td></tr><tr><td>② 保守対応業務</td><td>5</td><td>5</td><td>件</td></tr><tr><td>③ ネットワーク構築業務委託</td><td>0</td><td>1</td><td>件</td></tr></table> <課題、今後の取り組み> 複雑かつ多様化するシステムの運用管理を行える専門知識を持った職員の配置、育成が急務となっています。 また、新庁舎における新たなネットワーク基盤の構築を見据えた、システムおよびネットワークの最適化に取り組んでいくとともに、残る出先施設のネットワーク無線化に取り組む必要があります。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① マイナンバー対応業務	1	1	件	② 保守対応業務	5	5	件	③ ネットワーク構築業務委託	0	1	件
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① マイナンバー対応業務	1	1						件															
② 保守対応業務	5	5						件															
③ ネットワーク構築業務委託	0	1						件															
項	01	総務管理費																					
目	08	情報管理費																					
予算額(千円)	86,942																						
決算額(千円)	85,349																						
(前年決算	159,495																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要> 社会保障・税番号制度対応、電子計算機器等にかかる保守対応業務、ネットワーク構築業務を実施しました。																							
21																							

事業CD	112401	事業名	デジタル行政推進事業	所管課	行政改革課																		
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無																
款	02	総務費	<成果・実績> これまで導入したシステムの維持管理や、新たなシステム導入によりデジタル行政の推進しました。主なものを以下に挙げます。 なお、これら事業は全額ふるさと応援基金を使用して実施しています。 <u>RPA導入・運用支援業務</u> 定型的な業務を自動化することによって業務効率の改善を行い、創造的で多角的な市サービスの提供にリソースを割ける環境を整えました。 <u>オンライン申請のシステム維持運用業務</u> 令和4年度にBPR事業によって手続数を拡大したオンライン申請システムを引き続き運用し、デジタル化による手続の利便性維持に努めました。 <u>議会ペーパーレス会議システムの導入</u> 令和5年度に新たに議会ペーパーレス会議システム(当局側分)を導入し、議会における紙資源の節約と印刷等の作業コスト削減に努めました。 <table><tr><th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>① RPA導入・運用支援業務</td><td>1</td><td>1</td><td>件</td></tr><tr><td>② オンライン申請のシステム維持運用業務</td><td>1</td><td>1</td><td>件</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <課題、今後の取り組み> デジタル化によって新たなシステム利用料や機器管理等が必要となることから、そのコストで利便性向上や業務効率向上がどれだけ図れたのかを継続して精査していく必要があります。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① RPA導入・運用支援業務	1	1	件	② オンライン申請のシステム維持運用業務	1	1	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① RPA導入・運用支援業務	1	1						件															
② オンライン申請のシステム維持運用業務	1	1						件															
③																							
項	01	総務管理費																					
目	08	情報管理費																					
予算額(千円)	16,807																						
決算額(千円)	16,777																						
(前年決算	40,372																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要> 業務効率化や改善のため、各種システムを導入運用し利便性の向上を目指しデジタル行政を推進しました。																							
22																							

事業CD	115201	事業名	情報管理事業	所管課	行政改革課				
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無		
款	02	総務費	<成果・実績> 各電算システムを継続して使用するため、故障部品等の修理、トナー等消耗品の購入しました。また国や県への負担金等の支払いを行いました。						
項	01	総務管理費							
目	08	情報管理費							
予算額(千円)		1,267							
決算額(千円)		911							
(前年決算		1,008							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要>									
各種電算システムの各種消耗品、修理等の維持管理費と国県の各種負担金を支払いしました。									
23									
事業CD	115501	事業名	スマートフォン教室事業	所管課	行政改革課				
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無		
款	02	総務費	<成果・実績> 民間企業に委託してスマートフォン教室を市内の各コミュニティセンターで開催しました。参加者には実際にスマートフォンを操作してもらいながら、スマートフォンの使い方を学んでもらいました。電源の入れ方などの基本的な内容から、マイナンバーカードの申請方法などの応用的な内容までを自由に組み合わせて受講してもらいました。 なお、実施した体験型教室のうちスマホ教室(一定の内容を講義する集合参加形式)については、情報通信技術講習事業費補助金として国より10/10の補助(1,614千円)をうけて実施しています。残りのスマホ相談室(自由に質問ができる1対1の対面形式)については、ふるさと応援基金を活用して実施しました。						
項	01	総務管理費							
目	08	情報管理費							
予算額(千円)		6,721							
決算額(千円)		6,720							
(前年決算		1,890							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金		10/10							
県支出金									
<事業概要>									
スマートフォン体験型教室の開催によりデジタルデバイドの解消に努めた。									
24									

事業CD		115601		事業名	基幹系おうみ自治体クラウド管理事業	所管課		行政改革課	
会計		一般会計				決算書頁		88	資料
款	02	総務費		<成果・実績> 滋賀県内8市が加入するおうみ自治体クラウド協議会にて調達した基幹系システムの維持管理費の支払い、国が推進する定額減税等の法整備に伴うシステム改修費委託料の支払いなどを行いました。 なお、国が推進する基幹系20業務の標準化・共通化移行に伴うシステム移行経費については、デジタル基盤改革支援補助金として国より10/10の補助(2,376千円)をうけて実施しています。 <課題、今後の取り組み> 国が令和7年度中に完了目標としている基幹系20業務の標準化・共通化移行について、本市においても遅れることなく完了させる必要があります。					
項	01	総務管理費							
目	08	情報管理費							
予算額(千円)		55,540							
決算額(千円)		55,367							
(前年決算		55,779)							
※主な特定財源									
国庫支出金		10/10							
県支出金									
<事業概要>									
基幹系システムの維持管理と法改正と標準化移行に係る幹系システムの改修を実施しました。									
25									

事業CD		020107		事業名	コミュニティセンター長等報酬	所管課		まちづくり協働課																					
会計		一般会計				決算書頁		88	資料	無																			
款	02	総務費		<成果・実績> 市内11か所のコミュニティセンターのセンター長に対し報酬を支払いました。 55,000円×11人×12カ月 <table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>コミュニティセンター長への報酬の支払い</td><td>11</td><td>11</td><td>人</td></tr><tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <課題、今後の取り組み> コミュニティセンターの円滑な運営を図るため、引き続き各学区にコミュニティセンター長を配置します。						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	コミュニティセンター長への報酬の支払い	11	11	人	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度							単位																			
①	コミュニティセンター長への報酬の支払い	11	11							人																			
②																													
③																													
項	01	総務管理費																											
目	10	自治振興費																											
予算額(千円)		7,260																											
決算額(千円)		7,260																											
(前年決算		7,260)																											
※主な特定財源																													
国庫支出金																													
県支出金																													
<事業概要>																													
コミュニティセンター長を配置し、地域との連携によりコミセン機能の強化を図るとともに、まちづくり協議会と連携し、センターの円滑な運営を行いました。																													
26																													

事業CD	070801	事業名	コミュニティセンター維持管理事業	所管課	まちづくり協働課		
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> 市内11か所のコミュニティセンターにおいて、コミュニティ活動及び防災拠点として適切な維持管理を行うため、定期点検をはじめ保守・設備点検及び修繕を行いました。				
項	01	総務管理費					
目	10	自治振興費					
予算額(千円)		70,458					
決算額(千円)		67,834					
(前年決算		74,824					
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
市民のコミュニティ活動及び防災活動の拠点としての機能を果たすため、学区コミュニティセンターの適正な維持管理を行いました。							
27							

事業CD	113301	事業名	沖島離島振興事業	所管課	企画課		
会計	一般会計			決算書頁	88	資料	無
款	02	総務費	<成果・実績> ・第2期滋賀県離島振興計画がスタートしたことから、重点取組として掲げている交通、医療、産業振興、移住関係人口の創出に向けた取組みを進めました。 産業振興としては、沖島の玄関口にある沖島漁業会館の改修に向けて、沖島漁業協同組合、県、市農業振興課と協議を進め、改修方針の決定や財源確保を行いました。 また、移住者や関係人口の受入体制を強化するために、地域おこし協力隊を1名新たに配置するとともに、国の離島活性化交付金を活用して、空き家等の活用できる地域資源を整理し、今後の活用方針を定めることができました。 ・平成25年7月に離島振興対策実施地域として指定され、島民による主体的に離島振興を行う体制が整えられ、積極的なPR活動等を行ったことから、平成25年に12,800人だった来島者数が、令和5年には25,924人を記録しました。				
項	01	総務管理費					
目	10	自治振興費					
予算額(千円)		9,786					
決算額(千円)		9,671					
(前年決算		8,722					
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金		1/2					
<事業概要>							
島民主体の事業支援や地域おこし協力隊による島内の生業づくりを通じて、島内経済循環の仕組づくりと流出人口の抑制・移住者の増加を図り、持続可能な島づくりを行いました。							
28							

事業CD			116001			事業名			コミュニティセンター運営事業			所管課		まちづくり協働課					
会計			一般会計									決算書頁		88		資料		無	
款	02	総務費																	
項	01	総務管理費																	
目	10	自治振興費																	
予算額(千円)			2,442																
決算額(千円)			2,441																
(前年決算			2,344)																
※主な特定財源																			
国庫支出金																			
県支出金																			
＜事業概要＞																			
コミュニティセンターについて、地域活動の拠点施設として、地域との連携や適切な役割分担を図りながら、施設の貸館業務など円滑な運営を行いました。																			
29																			
事業CD			116101			事業名			自治振興推進事業			所管課		まちづくり協働課					
会計			一般会計									決算書頁		88		資料		有	
款	02	総務費																	
項	01	総務管理費																	
目	10	自治振興費																	
予算額(千円)			40,397																
決算額(千円)			40,220																
(前年決算			40,035)																
※主な特定財源																			
国庫支出金																			
県支出金																			
＜事業概要＞																			
自治会等が行うコミュニティ活動の推進に必要な支援を行うとともに、地域と行政の協働事業の推進や市民自治を進めるための事業を行いました。																			
30																			

＜成果・実績＞		
・コミュニティセンター職員と学区まちづくり協議会が連携してコミュニティセンターの貸館業務や日常管理を行い、センターを利用される住民の方が使いやすいと感じられるような円滑なセンター運営を行うことができました。		
・令和5年度において施設予約システムの導入し、より便利にコミュニティセンターを予約、利用できるようになりました。また、貸館にかかる月次報告が不要になるなどまち協職員の事務負担の軽減につながりました。		

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	利用団体への貸館等センターの円滑な運営	11	11	施設
②	まち協活動の広報等の情報発信	11	11	施設
③				

＜課題、今後の取り組み＞		
今後も行政とまちづくり協議会との適切な役割分担や連携の強化により、センター運営の効率化やセンター機能の強化、地域課題への対応等がより一層充実していくよう取り組んでいきます。		

＜成果・実績＞		
①協働のまちづくり推進委員会を開催し、第2期市民自治基本計画に係る関係課や関係機関の取組状況を共有し、課題の洗い出しや今後の展開等について協議しました。		
②市連合自治会幹事会や各学区行政懇談会において、地域課題を共有するとともに解決に向けて協議しました。		
③行政事務の一部を市連合自治会に委託することで、円滑な市政運営の推進、事務の効率化及び協働による住みよいまちづくりを推進しました。		

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	協働のまちづくり推進委員会の開催	1	2	回
②	市連合自治会の運営・事業への支援(幹事会の開催)	11	11	回
③	行政事務委託	37,642	37,485	千円

＜課題、今後の取り組み＞		
人口減少や少子高齢化に伴うライフスタイルの変化により、地域コミュニティの希薄化や共助意識の低下から自治会加入率の低下や地域の担い手不足などが課題となっています。これらの課題に対応するため、引き続き、行政と地域のそれぞれが役割を分担し、協議を重ね、協働において課題の解決を図っていきます。		

事業CD	116101	事業名	自治振興推進事業	所管課	まちづくり協働課
------	--------	-----	----------	-----	----------



【行政懇談会】



【自治会加入促進パンフレット】



【滋賀県自治会連合会研修会】



【連合会長・まち協会長・センター長合同研修会】

事業CD		116201	事業名	地域まちづくり支援事業	所管課	まちづくり協働課		
会計		一般会計			決算書頁	88	資料	有
款	02	総務費		<成果・実績> ・地域まちづくり支援交付金を活用し、地域課題の解決と地域の活性化を図るための様々な事業が各学区まちづくり協議会で実施されました。 ・これらの取り組みにおける課題などを「まちづくり協議会事務主任会議」や、「まちづくり協議会長・コミュニティセンター長合同会議」で意見交換や情報交流を行うことで、事業改善の取り組みが進みました。 ・令和5年度は、多くの学区で今までの事業の見直しを行い、様々な人が参加しやすい事業実施に努め、運動会や文化祭の参加者が増加した学区も見られました。				
項	01	総務管理費						
目	10	自治振興費						
予算額(千円)		120,066						
決算額(千円)		120,066						
(前年決算		120,066)						
※主な特定財源								
国庫支出金								
県支出金								
<事業概要> 学区まちづくり協議会がまちづくり計画に基づいて実施する地域活動、地域課題への対応及びその運営に対し支援を行いました。								
<課題、今後の取り組み> ・まちづくり協議会の活動を広報紙の特集や市ホームページなどを通して積極的にPRしました。これからも様々な媒体を活用して、多くの市民の目に触れるよう啓発を行います。 ・今後も各学区まちづくり協議会において、地域資源を活かした事業展開が効果的に行われるよう、各学区間の交流・連携を推進します。 ・地域まちづくり支援交付金について、各学区の取組や実情に合った内容への見直しを検討します。								

31

事業CD	116201	事業名	地域まちづくり支援事業	所管課	まちづくり協働課
------	--------	-----	-------------	-----	----------



わくわくふれあいサロン(島学区)



歩いて見よう！岡山(岡山学区)



市広報特集ページ

事業CD		116202		事業名	がんばる自治コミュニティ事業	所管課	まちづくり協働課		
会計		一般会計				決算書頁	88	資料	有
款	02	総務費		＜成果・実績＞ ・自治会のコミュニティ活動に利用する集会施設やコミュニティ広場の整備に対し補助金を交付し、支援を行うことでコミュニティ活動の活性化を図りました。 ・コミュニティ活動の拠点となる自治会館に対しては、主に修繕及び改修、バリアフリー化等に対する支援を行うほか、地域の防犯力の向上を図るため自治会にて管理する防犯カメラ等の設置に対する支援を行いました。 ・降雪時に生活道路や通学路を確保するため、行政と地域住民の役割分担に基づき、除雪機購入及び除雪作業に対して補助を行い、協働のまちづくりの推進を図りました。					
項	01	総務管理費							
目	10	自治振興費							
予算額(千円)		6,208							
決算額(千円)		5,981							
(前年決算		3,736)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
＜事業概要＞									
自治会が主体となって実施するコミュニティ活動に対し補助金等の支援を行い、地域コミュニティの活性化を図りました。									
＜課題、今後の取り組み＞									
今後も社会情勢や市の政策を踏まえ、自主的なコミュニティ活動の推進につながるよう効果的な補助メニューについて調査、研究を行います。									

事業CD	116202	事業名	がんばる自治コミュニティ事業	所管課	まちづくり協働課
------	--------	-----	----------------	-----	----------



上畑町自治会(防犯灯の設置)



赤尾町自治会(雨戸の改修)



池田本町自治会(遊具の修繕)



長光寺町自治会(防犯カメラの設置)

事業CD	116203	事業名	コミュニティ助成事業	所管課	まちづくり協働課
会計	一般会計			決算書頁	88

款	02	総務費	<成果・実績> 一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、要望があった団体のうち、下豊浦区自治会、沖島学区まちづくり協議会の事業について補助金を交付し、自治会等が主体となって実施するコミュニティ活動を支援しました。
項	01	総務管理費	
目	10	自治振興費	

予算額(千円)	3,400
決算額(千円)	3,400
(前年決算	7,200)

※主な特定財源

- 国庫支出金
- 県支出金

<事業概要>

自治会等が主体となって実施するコミュニティ活動に対し、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するコミュニティ助成事業を活用した支援を行いました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	コミュニティ助成事業を活用した補助金の交付	3	2	団体
②				
③				

<課題、今後の取り組み>

今後も積極的にコミュニティ助成事業を活用しながら、自治会館の建設及び備品・設備の整備にかかる支援を行い、自治会等団体活動の活性化及び活力ある地域づくりの推進につなげていきます。

事業CD	116203	事業名	コミュニティ助成事業	所管課	まちづくり協働課
------	--------	-----	------------	-----	----------



下豊浦区自治会(太鼓、エアコン)



沖島学区まちづくり協議会(備品等)

事業CD	116601	事業名	NPO活動促進事業	所管課	まちづくり協働課
会計	一般会計			決算書頁	88
款	02	総務費		資料	有

項	01	総務管理費	<成果・実績> 自発的にまちの課題や新たな課題に取り組む市民活動団体の活動を活性化させるため、まちづくり団体育成支援補助金の交付し、市民活動の活性化を図りました。 ・創業補助事業(上限30万円、補助対象経費の4/5以内): 7団体 ・新たなまちづくり団体を始める団体、初めて活動に取り組む団体を補助 ・しっかり活動運営補助事業(上限10万円、補助対象経費の4/5以内): 14団体 ・活動を開始してから3年以内の団体が活動の目的を達成するための経費を補助 ・ジャンプアップ運営補助事業(上限15万円、補助対象経費の1/2以内): 14団体 ・3年を超えて活動中の団体が、活動の基盤を拡大・強化するための経費を補助																
目	10	自治振興費																	
予算額(千円)	6,014																		
決算額(千円)	5,891																		
(前年決算	—																		
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																			
<事業概要> 自発的にまちの課題や新たな課題に取り組む市民活動団体の活動を活性化させるため、その経費の一部を助成し、市民活動の活性化を図りました。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① まちづくり団体育成支援補助金の交付</td><td>25</td><td>35</td><td>団体</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① まちづくり団体育成支援補助金の交付	25	35	団体	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																
① まちづくり団体育成支援補助金の交付	25	35	団体																
②																			
③																			
<課題、今後の取り組み> 今後も引き続き、本補助事業を広く周知し、地域課題の解決に向けて市民活動団体がより一層積極的な活動ができるよう支援します。 また、市民活動団体同士の連携強化を図るため交流会等を企画・検討します。																			

事業CD	116601	事業名	NPO活動促進事業	所管課	まちづくり協働課
------	--------	-----	-----------	-----	----------



【こねこねこ】



【西の湖プロジェクト】

【募集チラシ】

事業CD	117901	事業名	国際交流・多文化共生推進事業	所管課	まちづくり協働課
会計	一般会計			決算書頁	94

款	02	総務費	＜成果・実績＞
項	01	総務管理費	・外国人住民が抱える様々な課題に対処し、外国人住民とともに暮らしやすく豊かな地域社会を形成するため、多文化共生に向けた取組や施策の推進・充実を図りました。
目	15	国際交流費	・令和5年度は、多文化共生事業として、多文化まるごと講座インド編の実施、市民国際交流のつどいわいわいフェスタの開催や広報の英語版・ポルトガル語版の作成、掲載等を行いました。

予算額(千円)	6,432	・市職員向け研修として、やさしい日本語セミナーを1回実施し、やさしい日本語でコミュニケーション
決算額(千円)	6,430	を取る方法を学ぶとともに、自動翻訳機(ポケットク)の使用方法についても啓発を行いました。
(前年決算	6,430	・ミシガン州友好親善使節団の事業として使節団の受け入れがあり、5名の団員についてホームス

※主な特定財源

国庫支出金

県支出金

＜事業概要＞

住民誰もが暮らしやすい豊かな地域社会を形成するために外国人住民が抱える様々な課題に対応する多文化共生に向けた施策の推進と充実を図りました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 多文化共生推進事業業務の委託	1	1	件
② 市広報多言語版の作成	24	24	回
③			

＜課題、今後の取り組み＞

令和5年度からミシガン州友好親善使節団の交流が再開され、姉妹都市間の交流も活発化することから、国際交流事業を推進する必要があります。併せて、主にベトナム人住民を中心として在留外国人の増加が今後ますます見込まれることから、やさしい日本語や自動翻訳機(ポケットク)といったツールをより有効に活用し相談業務に活かす事業を継続的に取り組み、多文化共生事業を推進します。

事業CD		118301		事業名	家計応援商品券配布事業	所管課	市民生活・産業支援室																						
会計		一般会計				決算書頁	94	資料	無																				
款	02	総務費				<成果・実績> ○家計にプラス”たすカル”チケットの発行 市内店舗等限定で、金券として利用できる「家計にプラス”たすカル”チケット」を発行しました。 【配布対象】全市民(令和5年8月1日時点で本市住民基本台帳に登録のある者) 【配布内容】75歳以上市民:6,000円(200円×30枚) 上記以外市民:3,000円(200円×15枚) 【利用期間】令和5年10月1日～令和6年2月29日 【発行額】284,745,000円 【換金額】271,937,200円(換金率:95.5%) <table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>クーポン、チケットの配布</td><td>1</td><td>1</td><td>回</td></tr><tr><td>②</td><td>クーポン、チケットの換金率</td><td>95.1</td><td>95.5</td><td>%</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 令和4年度は、クーポン&チケット事業、令和5年度はチケット事業を実施 <課題、今後の取り組み> 事業の継続にあたっては、国際情勢などが物価高騰に及ぼす影響や、国の交付金動向などを勘案の上検討していきます。				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	クーポン、チケットの配布	1	1	回	②	クーポン、チケットの換金率	95.1	95.5	%	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度							単位																			
①	クーポン、チケットの配布	1	1	回																									
②	クーポン、チケットの換金率	95.1	95.5	%																									
③																													
項	01	総務管理費																											
目	17	諸費																											
予算額(千円)		310,929																											
決算額(千円)		297,713																											
(前年決算		—)																											
※主な特定財源																													
国庫支出金		139,884																											
県支出金																													
<事業概要>																													
物価高騰の影響を受ける市民の生活を支援しました。																													
38																													

事業CD		170301		事業名	書かない窓口事業	所管課	窓口サービス準備室																						
会計		一般会計				決算書頁	98	資料	無																				
款	02	総務費				<成果・実績> これまで、来庁者が転入、転出、転居等の住所異動やそれに伴う印鑑登録や住民票の交付申請の手続きを行う際には、手続きによって様式が異なるため、何度も住所、氏名、生年月日等を書類に記入する必要がありました。 書類への記入の負担を軽減するために、令和6年3月に異動受付支援システムを市民課に導入しました。異動受付支援システムは、来庁者が持参した転出証明書や在留カード等の文字をスキャナでOCR読み込みすることや、届出内容を職員が聞き取りしながら、書類を作成するものであり、住所異動に伴う複数の手続きにおいても、住所、氏名、生年月日等の項目を印字するため、同一内容を何度も書類に記入する負担を軽減することができました。利用者からは、「書くことが少なくよい」との感想をもらっています。 <table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>異動受付支援システムに対応している手続き数</td><td>—</td><td>19</td><td>手続き</td></tr><tr><td>②</td><td>異動受付支援システムに対応している窓口数</td><td>—</td><td>6</td><td>か所</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	異動受付支援システムに対応している手続き数	—	19	手続き	②	異動受付支援システムに対応している窓口数	—	6	か所	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度							単位																			
①	異動受付支援システムに対応している手続き数	—	19	手続き																									
②	異動受付支援システムに対応している窓口数	—	6	か所																									
③																													
項	03	戸籍住民基本台帳費																											
目	01	戸籍住民基本台帳費																											
予算額(千円)		27,290																											
決算額(千円)		27,283																											
(前年決算		—)																											
※主な特定財源																													
国庫支出金		1/2																											
県支出金																													
<事業概要>																													
異動受付支援システムを導入し、来庁者が持参した転出証明書や在留カード等の文字をOCR読み込みすること等により、来庁者の申請書類への記入の負担を軽減し、窓口サービスの向上を図りました。																													
39																													

事業CD			183101			事業名	統計調査推進事業	所管課	企画課																			
会計		一般会計		決算書頁	102			資料	無																			
款	02	総務費		<成果・実績> 各種統計調査を円滑に推進するため、調査員登録制度による調査員の確保と、調査員の資質と意識の向上を図るために調査員の研修会への参加要請をしました。令和5年3月末の登録調査員は78名（新規登録者13名、既登録者の登録取消4名）となりました。また令和5年版近江八幡市統計書を作成し、市ホームページに掲載しました。希望者に対しては印刷・製本した冊子を配布しました。																								
項	05	統計調査費																										
目	01	統計調査総務費																										
予算額(千円)		96																										
決算額(千円)		92																										
(前年決算		116		<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>調査員登録制度による調査員の確保と調査員研修会の実施</td><td>2</td><td>2</td><td>回</td></tr><tr><td>②</td><td>近江八幡市統計書の作成</td><td>1</td><td>1</td><td>回</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <課題、今後の取り組み> プライバシー意識の高まる中、統計調査を巡る環境は年々厳しくなっています。そのような状況の中、調査員の確保をするとともに、社会のニーズに対応できる調査員の人材育成が必要です。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	調査員登録制度による調査員の確保と調査員研修会の実施	2	2	回	②	近江八幡市統計書の作成	1	1	回	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度						単位																			
①	調査員登録制度による調査員の確保と調査員研修会の実施	2	2						回																			
②	近江八幡市統計書の作成	1	1						回																			
③																												
※主な特定財源																												
国庫支出金																												
県支出金		定額																										
<事業概要>																												
各種統計調査を円滑に実施するために、調査員の確保、資質向上を図るとともに、統計情報の効果的な活用を図りました。																												
40																												
事業CD		184111																										
会計		一般会計		事業名	農林業センサス事業	所管課	企画課																					
決算書頁		102	資料			無																						
款	02	総務費		<成果・実績> 2025年に実施する農林業センサス調査の準備として、調査区の確認を行いました。																								
項	05	統計調査費																										
目	02	統計調査事業費																										
予算額(千円)		5																										
決算額(千円)		4																										
(前年決算		－		<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>農林業センサスの事前準備</td><td>－</td><td>1</td><td>回</td></tr><tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <課題、今後の取り組み> 個人情報の保護意識の高まる中、統計調査を巡る環境は年々厳しくなっています。市民の理解を促進することにより、調査票提出率の向上と、より正確なデータ収集を行う必要があります。また、2025年実施する農林業センサスに向け、調査員の確保をはじめ、体制整備が必要となります。					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	農林業センサスの事前準備	－	1	回	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度						単位																			
①	農林業センサスの事前準備	－	1						回																			
②																												
③																												
※主な特定財源																												
国庫支出金																												
県支出金		10/10																										
<事業概要>																												
2025年農林業センサスに向けた調査の準備を行いました。																												
41																												

事業CD	184112	事業名	国勢調査事業	所管課	企画課
会計	一般会計			決算書頁	102資料無
款	02	総務費	<成果・実績> 令和7年に実施する国勢調査の事前準備を行いました。		
項	05	統計調査費			
目	02	統計調査事業費			
予算額(千円)		3			
決算額(千円)		1			
(前年決算		-)			
※主な特定財源					
国庫支出金					
県支出金		10/10			
<事業概要>					
令和7年国勢調査に向けた調査の準備を行いました。					
42					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 国勢調査の事前準備	1	1	回
②			
③			

<課題、今後の取り組み>
 個人情報の保護意識の高まる中、統計調査を巡る環境は年々厳しくなっています。市民の理解を促進することにより、調査票提出率の向上と、より正確なデータ収集を行う必要があります。令和7年国勢調査実施に向け、調査員の確保をはじめ、体制整備が必要となります。

事業CD	184113	事業名	住宅・土地統計調査事業	所管課	企画課
会計	一般会計			決算書頁	102資料無
款	02	総務費	<成果・実績> 令和5年10月1日を基準日として、令和2年国勢調査の調査区を基に抽出した住戸を対象に、調査員58名、指導員11名と協力し、住宅・土地統計調査を実施しました。		
項	05	統計調査費			
目	02	統計調査事業費			
予算額(千円)		4,657			
決算額(千円)		4,653			
(前年決算		488)			
※主な特定財源					
国庫支出金					
県支出金		10/10			
<事業概要>					
住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地などの実態を把握し、その現状と推移を明らかにする国の基幹統計調査を実施しました。(5年毎調査)					
43					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 住宅・土地統計調査単位区設定	1	-	回
② 住宅・土地統計調査の実施	-	1	回
③			

<課題、今後の取り組み>
 個人情報の保護意識の高まる中、統計調査を巡る環境は年々厳しくなっています。市民の理解を促進することにより、調査票提出率の向上と、より正確なデータ収集を行う必要があります。

事業CD	184114	事業名	経済センサス事業	所管課	企画課				
会計	一般会計			決算書頁	102	資料	無		
款	02	総務費	<成果・実績> 令和6年経済センサス基礎調査の調査区設定を実施しました。						
項	05	統計調査費							
目	02	統計調査事業費							
予算額(千円)		27							
決算額(千円)		27							
(前年決算		24							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金		10/10							
<事業概要>									
経済センサスー基礎調査において設定した調査区を管理し、必要な修正を行うことにより、事業所または企業を対象とする各種統計調査の基礎資料を作成しました。									
44									

事業CD	075201	事業名	観光施設等施設維持管理事業	所管課	観光政策課				
会計	一般会計			決算書頁	142	資料	無		
款	07	商工費	<成果・実績> ①本市の観光地の中心にある白雲館および安土城郭資料館について、指定管理者制度による適正な管理運営を行いました。 白雲館 7,700千円(指定管理料) 安土城郭資料館 4,100千円(指定管理料) ②JR近江八幡駅北口観光案内所・安土駅観光案内所の運営を行い、観光客の受入体制の円滑化を図りました。 近江八幡駅北口観光案内所 5,940千円(運営委託料)委託先:(一社)近江八幡観光物産協会 安土駅観光案内所 4,169千円(運営委託料)委託先:(一社)近江八幡観光物産協会 ③安土城郭資料館の空調機の修理や公衆トイレの修繕等を実施しました。						
項	01	商工費							
目	03	観光費							
予算額(千円)		34,628							
決算額(千円)		34,371							
(前年決算		32,398							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要>									
観光客の受入体制を整え、ホスピタリティを向上させるため、市が管理する観光施設の管理・活用を図りました。									
45									

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	指定管理者制度による適正な管理運営	2	2	館
②	観光案内所の運営	2	2	館
③	建物の経年劣化等による破損個所の修繕	2	3	件

<課題、今後の取り組み>		
今後も、多くの観光客が立寄る拠点として利便性の維持・向上のため、施設の維持管理に努めていくとともに、本市の観光の魅力を発信する施設として、有効活用していきます。		

事業CD		415101		事業名	観光振興事業		所管課	観光政策課		
会計		一般会計					決算書頁	142	資料	有
款	07	商工費		<成果・実績> 令和5年の観光入込客数は約644万人(令和4年 約521万人)となり、コロナ禍前(令和元年 約554万人)を上回りました。 ①近江八幡観光物産協会及び近江八幡市観光ボランティアガイド協会の活動を支援しました。本市が持つ豊かな歴史・文化・自然・風土について、SNSや各種メディアを通じて情報発信を行ったほか、観光客のニーズに沿ったおもてなしのガイドを実施することで、本市の知名度向上やイメージアップを図りました。 ②市民に対して、郷土の魅力の再発見と憩いの場の創出を図るとともに、観光客誘致に繋がるイベントを企画・実施した各団体に対し、補助金を交付しました。 ③春の大型連休や秋の観光シーズンに、日牟禮八幡宮周辺(市道白雲宮内線)の安全確保を目的とした交通安全対策を実施しました。また、左義長まつりでは、交通渋滞緩和の観点からパークアンドバスライドを実施しました。						
項	01	商工費								
目	03	観光費								
予算額(千円)		31,467								
決算額(千円)		31,096								
(前年決算		21,066								
※主な特定財源										
国庫支出金										
県支出金										
<事業概要> 観光地の受入体制の整備(ソフト面)や観光関連団体との連携により観光振興の活性化を図りました。										
46										
<課題、今後の取り組み> 観光客が集中する観光シーズン及び大規模イベント時の八幡堀周辺の交通渋滞の緩和や安全対策が課題であり、今後も継続して実施していきます。										

事業CD	415101	事業名	観光振興事業	所管課	観光政策課
------	--------	-----	--------	-----	-------

① 近江八幡観光物産協会 9,500千円

近江八幡市観光ボランティアガイド協会 640千円

①



観光ガイド

ヴォーリズ建築めぐり

② あづち信長まつり事業補助金 3,000千円

観光イベント事業補助金 6,340千円

②



あづち信長まつり



観光イベント事業
時代劇のまち近江八幡

事業CD		415201	事業名	広域観光および友好都市交流事業	所管課	観光政策課			
会計		一般会計			決算書頁	142	資料	有	
款	07	商工費	<成果・実績> ①夫婦都市交流事業として、7月に第67回夫婦都市親善交流訪問を実施しました。また、11月には富士宮市の方々を本市に迎え、交流会を開催し、両市の絆を深めるとともに、相互の観光物産振興につとめました。 ②広域連携として参画する東近江観光振興推進協議会において、東近江地域2市2町で特色ある観光名所や、「びっくり」させるようなポイントを設けた協賛店を巡る、地域の魅力を楽しんでもらう周遊スタンプラリーを実施しました。 ③その他広域連携として、びわこビジターズビューローや滋賀ロケーションオフィス、歴史街道推進協議会（近畿地方の連携）、信長公居城連携協議会（中部地方の連携）に参画し、観光振興ならびに情報発信を行いました。						
項	01	商工費							
目	03	観光費							
予算額(千円)		2,115							
決算額(千円)		2,037							
(前年決算		1,704							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要> 本市の観光の魅力を広く発信し、広域的な誘客を行うため、広域的観光団体等と連携しました。また、夫婦都市である富士宮市との交流を促進しました。									
47									
事業CD		415201	事業名	広域観光および友好都市交流事業	所管課	観光政策課			
① 夫婦都市交流事業		第67回夫婦都市親善交流訪問							
② 東近江観光振興推進協議会		東おうみびっくりスタンプラリー							
③ その他広域連携		滋賀ロケーションオフィス 信長公居城連携協議会 等					スタンプラリー		
									
							御城印ラリー		

事業CD		415301		事業名	観光ブランディング推進事業	所管課		観光政策課		
会計		一般会計				決算書頁		142	資料	無
款	07	商工費		<成果・実績> 地域おこし協力隊を継続して委嘱し、計3名がそれぞれの能力を用いて観光資源のブランド化や観光振興に取り組むとともに、観光DMO法人の体制強化を図りました。また、令和6年度に向けて、新たに1名委嘱するために募集を行い、採用面接を経て内定者を決定しました。 市内の地域おこし協力隊の日頃の取組み内容や成果を市民の皆様や関係者の方等に広く知ってもらうために、他課と合同で活動報告会を開催しました。						
項	01	商工費								
目	03	観光費								
予算額(千円)		14,343								
決算額(千円)		14,343								
(前年決算		12,902)								
※主な特定財源										
国庫支出金										
県支出金										
<事業概要>										
市民・観光客に対する、本市観光資源のブランド化を進めるため、地域おこし協力隊を配置し、観光資源の魅力発信につながる取組みを行いました。										
48										

事業CD		741201		事業名	観光地域振興無電柱化推進事業	所管課		文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁		142	資料	有
款	07	商工費		<成果・実績> 令和3年度から国の観光地域振興事業補助金を得て、無電柱化事業を進めました。令和5年度は各電線事業者や地域と調整しながら、第一期工事(新町通り地区、71m)を終了しました。						
項	01	商工費								
目	03	観光費								
予算額(千円)		63,923								
決算額(千円)		48,903								
(前年決算		0)								
※主な特定財源										
国庫支出金										
県支出金										
<事業概要>										
伝統的建造物群保存地区の一部を無電柱化し、景観を整えることにより、地元の方々の保全に対する意識を高め、来訪者への地区の魅力を発信し、誘客へとつなげます。										
49										

事業CD	741201	事業名	観光地域振興無電柱化推進事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	----------------	-----	-------



事業CD	601101	事業名	ふるさと文化振興事業	所管課	文化振興課
会計	一般会計	決算書頁	168	資料	無

款	10	教育費	<成果・実績> ●文化芸術団体への補助金交付 ・近江八幡市文化団体連合会・・・ミニ文化祭や広報紙の発行、文化研修会などの事業に活用され、市の文化芸術の振興を図りました。 ・まちづくり芸術振興事業補助金・・・6団体から申請を受付け、審査会を開催し、文化活動や近江八幡市の魅力を多方面に発信する文化事業などに補助金を交付しました。 ●子ども向け音楽振興事業 「お出かけ演奏会」を4校9園所に対し15公演を実施しました。また、「キッズオルガン教室」は児童1名につき計5回、「パイプオルガン探検隊」は計1回開催し、県最大のパイプオルガンの普及と啓発を行いました。 ●第67回市美術展覧会の開催 地域おこし協力隊による対話型鑑賞会をすべての部門で実施し、計14名が参加しました。
項	05	社会教育費	
目	01	社会教育総務費	

予算額(千円)	21,597
決算額(千円)	21,144
(前年決算)	6,346

※主な特定財源
 国庫支出金
 県支出金

<事業概要>
 伝統文化の継承や新たな文化創造の推進のため、各種事業を行いました。また、地域おこし協力隊を活用し、アートを資源とした賑わいの創出と地域活性化を図りました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 市美術展覧会の開催	940	711	人
② 市民団体への活動支援	2	6	団体
③ 子ども向け音楽振興事業	23	23	回

<課題、今後の取り組み>
 引き続き各事業を継続実施するとともに、さらに文化芸術に触れる機会を創出するため、地域おこし協力隊を活用した地域や学校での事業実施について検討します。

事業CD		082501		事業名	市史・埋文施設維持管理事業	所管課		文化振興課	
会計		一般会計				決算書頁		170	資料
款	10	教育費		<成果・実績> 市史編纂室・埋蔵文化財整理室の維持管理と、国指定史跡（瓢箪山古墳・観音寺城跡）にかかる市有地と関連施設（セナリヨ公園）の維持管理を適切に行いました。					
項	05	社会教育費							
目	02	文化財保護費							
予算額(千円)		2,623							
決算額(千円)		2,559							
(前年決算		2,277							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要>									
市史編纂室・埋蔵文化財整理室の維持管理と、国指定史跡にかかる市有地と関連施設の維持管理を適切に行いました。									
52									

事業CD		082502		事業名	匠の里施設維持管理事業	所管課		文化振興課	
会計		一般会計				決算書頁		170	資料
款	10	教育費		<成果・実績> 匠の里の浄化槽維持管理点検や消防用設備等定期点検など施設維持管理、破損したガラス戸の修理を行いました。					
項	05	社会教育費							
目	02	文化財保護費							
予算額(千円)		1,134							
決算額(千円)		1,114							
(前年決算		1,099							
		)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要>									
安土匠の里施設の維持管理を適切に行いました。また、保管している市内の貴重な各文化財の保存・管理を行いました。									
53									

<課題、今後の取り組み>	
公文書館への移動に向け、施設内の整理が必要となります。	

<課題、今後の取り組み>	
浄化槽維持管理点検や消防用設備定期点検を実施し、建物の適切な維持管理を行います。施設の活用に関して所管他の施設と調整し、検討していきます。	

A photograph showing a large fire burning in a field of dry grass, with two people standing nearby. Thick smoke rises from the fire, and mountains are visible in the background.

事業CD		602201		事業名	選択無形文化財保存事業	所管課		文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁		170	資料	無
款	10	教育費		<成果・実績> 近江八幡の火祭りの中で代表的な左義長祭、八幡祭松明祭、篠田の花火の保存伝承活動を行う3団体に対して補助金を交付しました。3つの保存会とも、保存伝承事業を継続実施することで、後継者育成に努めました。今後も事業を継続していくことで、伝統文化の伝承に繋がっていくと考えられます。						
項	05	社会教育費								
目	02	文化財保護費								
予算額(千円)		1,500								
決算額(千円)		1,500								
(前年決算		632								
)										
※主な特定財源										
国庫支出金										
県支出金										
<事業概要>										
国選択無形文化財「近江八幡の火祭り」について、その保存伝承を図るために、中心的な団体である3団体に補助を行いました。										
55										

事業CD		602301		事業名	文化財保護事務事業	所管課		文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁		170	資料	有
款	10	教育費		<成果・実績> 市内の文化財の保存・活用に関する情報収集のため、国立奈良文化財研究所で開催された文化財担当者専門研修ほか、史跡・文化財に関する研修を受講しました。 市内の文化財の保存・活用に関する協議・公開活動として、ヴォーリズ建築全国ネットワーク定例会にて幹事として協議を行いました。						
項	05	社会教育費								
目	02	文化財保護費								
予算額(千円)		658								
決算額(千円)		602								
(前年決算		545								
)										
※主な特定財源										
国庫支出金										
県支出金										
<事業概要>										
文化財の保護及び保存活用、普及啓発を行うために、審議会の開催や、文化財保護・活用に関する諸事務を行いました。										
56										

事業CD	602401	事業名	町なみ保存推進事業	所管課	文化振興課		
会計	一般会計			決算書頁	170	資料	有

＜成果・実績＞

学識経験者4名、保存地区内代表5名、行政関係3名の計12名の委員からなる伝統的建造物群保存地区保存審議会を行いました。令和5年度は2回開催し、令和6年度修理事業についてや、八幡堀石垣の修理についての審議をすることができました。

また、修理・修景技術アドバイザー制度を活用し、令和6年度の修理・修景事業を中心に4回の現地指導、建造物調査を依頼し、修理・修景事業についての有効な助言・指導を得ました。

＜事業概要＞

重要伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、重要伝統的建造物群保存地区を活用した魅力ある地域づくりと、地区内の諸問題の解決策を検討しました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催	2	2	回
②	修理・修景技術アドバイザー現地指導	4	7	回
③				

＜課題、今後の取り組み＞

現在、伝統的建造物群保存地区内では、数軒の空き家が見られ、今後も増加の懸念があります。空き家の状態が長く続くと建物の破損が進み、再度の利活用のためには、大規模修繕等が必要な場合がありますが、令和4年12月23日に交付した近江八幡市歴史的な価値を有する建築物の保存及び活用に関する条例施行規則により大規模修繕を行い、空き家の利活用を推進します。

事業CD	602401	事業名	町なみ保存推進事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	-----------	-----	-------



八幡堀修理内容の確認(伝統的建造物群保存地区保存審議会)



修理修景アドバイザーによる現地確認 2月15日

場所は日牟禮八幡宮神楽殿横

事業CD		602501		事業名	文化財保存活用事業	所管課	文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁	170	資料	有
款	10	教育費		<成果・実績> ヴォーリズ建築及び同時代の近代建築調査について、関西学院大学ヴォーリズ研究センターを中心とした調査チーム、滋賀県文化財保護課、市による連絡協議会にて調査方針や進捗確認などを行いました。 市内に残る歴史文化遺産の調査を行いました。					
項	05	社会教育費							
目	02	文化財保護費							
予算額(千円)		2,064							
決算額(千円)		1,916							
(前年決算		500)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要> ヴォーリズ建築及び同時代の近代建築調査など指定・未指定文化財の文化財の調査を行い、保存活用に係る事業を実施しました。									
</									

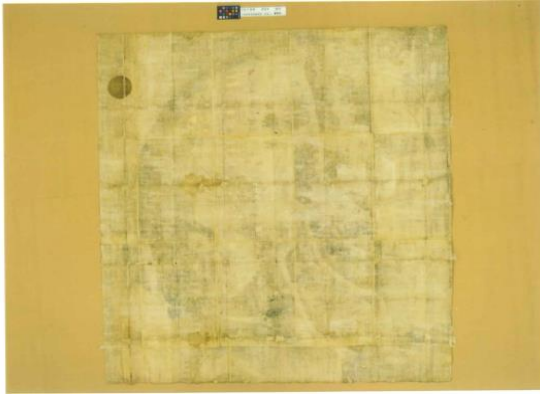
事業CD	602501	事業名	文化財保存活用事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	-----------	-----	-------



【近代建築調査】調査対象となる建築の一例(旧伊庭家住宅)、調査チームによる市内現地視察の様子

事業CD		783101		事業名	指定文化財保存事業	所管課		文化振興課																					
会計		一般会計				決算書頁		170	資料	有																			
款	10	教育費		<成果・実績> 指定文化財を保護するために文化財保存修理事業1件、防災・防犯設備整備事業2件について補助金を交付しました。 ・重要文化財長命寺文書修理事業 668千円 ・重要文化財長命寺エンジンポンプ修繕事業 254千円 ・特別史跡安土城跡災害復旧工事 5,000千円																									
項	05	社会教育費																											
目	02	文化財保護費																											
予算額(千円)		5,922																											
決算額(千円)		3,606																											
(前年決算		5,891)																											
※主な特定財源				<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>文化財保存修理事業</td><td>2</td><td>1</td><td>件</td></tr><tr><td>②</td><td>防災・防犯設備整備事業</td><td>1</td><td>2</td><td>件</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	文化財保存修理事業	2	1	件	②	防災・防犯設備整備事業	1	2	件	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度							単位																			
①	文化財保存修理事業	2	1							件																			
②	防災・防犯設備整備事業	1	2	件																									
③																													
国庫支出金																													
県支出金																													
<事業概要> 市民共有の財産である、指定文化財を守るために、防災設備修理及び小修理について補助金の交付を行いました。				<課題、今後の取り組み> 今後も、文化財所有者・管理者の高齢化や後継者不足により、文化財の維持管理が困難となることが想定されます。また、文化財の維持管理には人員の確保だけでなく、知識や技術の継承や、後継者育成のための環境や支援制度の整備をあわせて行うことが必要となるため、補助対象の検討など、文化財の後世への継承に向けた環境整備を行っていく必要があります。																									
59																													

事業CD	783101	事業名	指定文化財保存事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	-----------	-----	-------



重要文化財長命寺文書修理事業 修理中写真(裏打ち補修(左)と剥落止め(右))

事業CD	783201	事業名	伝統的建造物群保存事業	所管課	文化振興課
会計	一般会計			決算書頁	170

款	10	教育費	<成果・実績> 伝統的建造物群保存地区内において、伝統的建造物6件について補助金を交付し、修理・修景事業を実施することで、伝統的建造物群保存地区の町なみ景観の保存を行うことができました。
項	05	社会教育費	
目	02	文化財保護費	

予算額(千円)	14,932	令和5年度 修理・修景事業 土蔵・茶室・主屋修理 合計 4件		
決算額(千円)	14,898	・永原町中 土蔵 (保存計画番号309)	修理事業	4,500千円
(前年決算	28,156)	・永原町元 土蔵 (保存計画番号64)	修理事業	4,500千円
		・永原町元 茶室 (保存計画番号308)	修理事業	4,500千円
		・新町一丁目 主屋 (保存計画番号113、114)	修理事業	711千円

※主な特定財源

国庫支出金	1/2
県支出金	

<事業概要>

伝統的建造物群保存地区のまちなみの景観を守り、また地域の文化と伝統を継承するため、保存地区内の修理・修景事業に対して補助金の交付を行いました。

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 伝統的建造物等修理修景事業補助金交付	6	4	件
② 伝統的建造物等修理修景設計監理補助金交付	5	3	件
③			

<課題、今後の取り組み>

平成25年度以降、修理・修景事業の件数が多く、その対応が中心となり、町なみ保存についての十分な普及啓発活動が行われていません。今後は伝統的建造物群保存地区をまちづくりに繋げるために、町なみ保存に対する普及啓発事業を修理・修景事業と並行して実施することで、保存地区住民の町なみ保存についての気運を醸成する仕組みづくりが課題となります。また、伝統的建造物保存地区内としての防災計画を立てることが課題となっています。

事業CD		603101		事業名	文化財調査事務事業	所管課		文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁		172	資料	無
款	10	教育費		<成果・実績> 発掘調査事業、整理作業を円滑にするために、調査で使用する公用車の維持管理や、調査機器のメンテナンス、ポンプや発電機などの調査機器の整備を行いました。						
項	05	社会教育費								
目	03	文化財調査費								
予算額(千円)		1,028								
決算額(千円)		570								
(前年決算		747)								
※主な特定財源				<課題、今後の取り組み> 開発事業の円滑な進行のため、調査、整理業務を迅速に進める必要があります。そのため、出土遺物の保管施設の適切な管理や調査用、事務用備品管理が必要となります。今後は報告書作成のためのソフト整備などを行い、より精度が高い調査・整理事業を進めていきます。						
国庫支出金										
県支出金										
受託調査費用 10/10										
<事業概要> 埋蔵文化財に関する各事業を円滑に実施するために、公用車、調査用機材、備品の管理を適切に行い、事業へ迅速に対応しました。				<課題、今後の取り組み> 開発事業の円滑な進行のため、調査、整理業務を迅速に進める必要があります。そのため、出土遺物の保管施設の適切な管理や調査用、事務用備品管理が必要となります。今後は報告書作成のためのソフト整備などを行い、より精度が高い調査・整理事業を進めていきます。						
62										
事業CD		603201								
会計		一般会計								
款	10	教育費		事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所管課		文化振興課		
項	05	社会教育費				決算書頁		172	資料	有
目	03	文化財調査費		<成果・実績> 文化財保護法に基づき、市内における個人住宅等の建設や公共事業に伴って、下記遺跡の試掘調査及び緊急発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を図ることができました。						
予算額(千円)		9,106								
決算額(千円)		8,476								
(前年決算		8,879)								
※主な特定財源				<事業概要> 個人住宅等の建設及び公共事業に伴い埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査を実施しました。また、調査で出土した遺物の整理調査を行い調査報告書を刊行しました。						
国庫支出金 1/2										
県支出金 1/4										
63										

事業CD	603201	事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	-------------	-----	-------



八幡山城遺跡22次調査の様子



八幡山城遺跡23次調査 完掘写真

事業CD		603501		事業名	埋蔵文化財発掘調査受託事業	所管課	文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁	172	資料	有
款	10	教育費		<成果・実績> 埋蔵文化財に対しての発掘調査4件、整理調査5件を実施し、文化財の各種記録化による保存を行うことができました。また、整理調査を実施した5件の報告書を刊行しました。 ・発掘調査4件実施 出町遺跡53次(出町) 令和5年 8月21日 ～ 令和5年10月2日 寺内遺跡6次(加茂町) 令和5年10月 2日 ～ 令和5年10月25日 高木遺跡5次(浅小井町) 令和5年12月 7日 ～ 令和6年 1月31日 老蘇遺跡52次(安土町老蘇) 令和5年11月 6日 ～ 令和6年 3月7日 ・整理調査 5件実施 加茂遺跡30次、後川遺跡12次、小中遺跡54次、小中遺跡55次、老蘇遺跡51次					
項	05	社会教育費							
目	04	埋蔵文化財発掘調査受託事業費							
予算額(千円)		9,348							
決算額(千円)		6,022							
(前年決算		6,125)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
受託調査費用		10/10							
<事業概要>									
民間の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を原因者の費用負担により実施しました。また、その出土文化財について整理調査を行いました。									
<課題、今後の取り組み>									
調査成果の公表のため、調査現場で実施する現地説明会の協力について、開発事業者の理解を得るように努め、普及啓発活動に繋げていくことが必要となります。									

64

事業CD	603501	事業名	埋蔵文化財発掘調査受託事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	---------------	-----	-------



出町遺跡53次調査調査の様子



老蘇遺跡52次調査(調査区3)の完掘状況

事業CD		606151	事業名	安土文芸の郷公園管理振興事業	所管課	文化振興課																						
会計	一般会計				決算書頁	176	資料	無																				
款	10	教育費		<成果・実績> 安土文芸の郷公園施設は、文化施設(文芸セナリヨ)、体育施設(あづちマリエート、運動場、テニスコート等)、観光施設(安土城天主信長の館)、レストラン等の11施設が設置されており、それらの施設の管理運営を一括して指定管理業務により運営しました。また、施設の老朽化に伴う修繕および改修工事を実施しました。その結果、施設環境の改善を図ることができました。																								
項	05	社会教育費																										
目	12	文化振興費																										
予算額(千円)		54,073		・維持運営管理費 46,223千円 ・施設修繕 4,245千円 ・文芸の郷改修工事に伴う損失補填 988千円																								
決算額(千円)		53,654																										
(前年決算		52,184)																										
※主な特定財源				・文芸セナリヨ 総入場者数7,967人(令和4:総入場者数6,152人) ・安土城天主信長の館 総入場者数66,424人(令和4:総入場者数16,857人) ・体育施設 総利用者数46,524人(令和4:総利用者数39,242人)																								
国庫支出金																												
県支出金																												
<事業概要> 市民の文化・体育振興の拠点施設である安土文芸の郷公園の活性化を図るため、指定管理者と連携し、適正な運営及び維持管理を行いました。				<table><tr><th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td>①</td><td>適正な管理運営</td><td>1</td><td>1</td><td>施設</td></tr><tr><td>②</td><td>施設修繕</td><td>1</td><td>10</td><td>箇所</td></tr><tr><td>③</td><td>文芸の郷改修工事に伴う損失補償</td><td>1</td><td>1</td><td>件</td></tr></table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	適正な管理運営	1	1	施設	②	施設修繕	1	10	箇所	③	文芸の郷改修工事に伴う損失補償	1	1	件
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位																								
①	適正な管理運営	1	1	施設																								
②	施設修繕	1	10	箇所																								
③	文芸の郷改修工事に伴う損失補償	1	1	件																								
<課題、今後の取り組み> 長期にわたるコロナ禍と各施設休館長期改修工事の影響で利用者離れが加速し、さらには公益事業の実施ができないこともあり、利用しやすい施設への再構築が求められています。各施設の自主事業については、引き続き市民に安心して文化芸術に触れることができる機会と文化活動実践の場を提供します。また、「安土文芸の郷公園」設置30周年を迎えたことから、30周年を記念し、地域の文化・芸術・スポーツ活動の中核施設である「安土文芸の郷公園」を市内にアピールすることを目的とした各種記念事業を実施します。																												
65																												

事業CD		784202		事業名	文芸セミナー等長寿命化整備事業	所管課	文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁	176	資料	有
款	10	教育費		<成果・実績> 【実施設計委託】 安土文芸の郷公園内6箇所のトイレについて、感染症対策のためのトイレ洋式化等改修工事の実施設計業務委託を行いました。また、スペイン広場の四阿・シェルター等の休憩施設改修工事の実施設計業務委託を行いました。 【改修工事・監理委託】 昨年度から実施している文芸セミナー外壁改修工事及び監理委託を行いました。また、公園外構についての長寿命化対策として、あづちマリエート外構改修工事、文芸の郷公園内舗装等改修工事を行いました。					
項	05	社会教育費							
目	12	文化振興費							
予算額(千円)		200,292							
決算額(千円)		180,593							
(前年決算		155,221							
※主な特定財源									
国庫支出金		1/2							
県支出金									
<事業概要> 安土文芸の郷公園の長寿命化計画に沿って、社会資本総合整備交付金等を活用し、文芸セミナー等の大規模改修を実施しました。									
66				<課題、今後の取り組み> 令和6年度で長寿命化改修工事が終了するため、今後も引き続き施設の予防保全に努めるとともに、今まで以上に市民の身近な場とするための各種取組の検討が必要となります。					
事業CD		784202		事業名	文芸セミナー等長寿命化整備事業	所管課	文化振興課		
									
文芸セミナー外壁改修工事 改修後(正面)									
									
文芸セミナー外壁改修工事 改修後(背面)									

事業CD		950209		事業名	文化会館事業特別会計繰出金	所管課		文化振興課	
会計		一般会計				決算書頁		176	資料
款	10	教育費		<成果・実績> 文化会館事業特別会計に職員給与、施設維持等の義務的経費を支出し、特別会計による文化会館の運営を行いました。					
項	05	社会教育費							
目	12	文化振興費							
予算額(千円)		57,353							
決算額(千円)		51,870		<課題、今後の取り組み> 今後も文化会館の適切な運営のために、文化会館特別会計に職員給与、施設維持等の義務的経費を支出します。					
(前年決算		51,810)							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金									
<事業概要> 文化会館事業特別会計に職員給与、施設維持等の義務的経費を支出しました。									
67									

事業CD		082801		事業名	旧伊庭家住宅施設維持管理事業	所管課		文化振興課	
会計		一般会計				決算書頁		178	資料
款	10	教育費		<成果・実績> 市所有の指定文化財である旧伊庭家住宅を保存・管理し、ボランティア団体オレガノの協力により市民に公開しました。 建築物定期点検や警備保障などの委託業務と、施設の老朽化に伴う緊急修繕工事を行いました。					
項	05	社会教育費							
目	17	文化施設費							
予算額(千円)		676							
決算額(千円)		653		<課題、今後の取り組み> 建物は、大正2年(1913年)の建物で老朽化が進んでおり、公開施設として引き続き適切な維持管理、建物の修繕が必要になります。 安土地域の観光資源として寄与できるように有効な公開活用方法を図るとともに、後世に残すべき歴史文化遺産として保存・管理に努めます。					
(前年決算		1,811)							
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金									
<事業概要> 市所有の指定文化財である旧伊庭家住宅を保存・管理し、市民に公開しました。									
68									

事業CD			606301			事業名		安土城跡ガイダンス施設運営管理事業			所管課		文化振興課					
会計			一般会計								決算書頁		178		資料		無	
款			10			教育費			<成果・実績> 指定管理者である安土町商工会に業務委託し、安土城跡の訪問者向けに城跡のガイダンスおよび観光客の市内誘致等の運営を適切に行いました。 ガイダンスおよび多目的広場の除草業務委託、多目的広場の簡易的な整備を行いました									
項			05			社会教育費												
目			17			文化施設費												
予算額(千円)			6,465			入館者数												
決算額(千円)			6,195			大人:5,684人(昨年度より123%増)												
(前年決算			6,190			小人: 604人(昨年度より113%増)												
※主な特定財源																		
国庫支出金																		
県支出金																		
<事業概要>																		
特別史跡安土城跡ガイダンス施設(城なび館)において、指定管理者と連携を図り、適正な運営及び施設管理を行いました。																		
69																		
事業CD			606501			事業名		資料館及びかわらミュージアム運営管理事業			所管課		文化振興課					
会計			一般会計								決算書頁		178		資料		有	
款			10			教育費			<成果・実績> 市立資料館(郷土資料館、歴史民俗資料館)、重要文化財旧西川家住宅、かわらミュージアムの管理運営を一括して指定管理者であるパソナジョイナスに業務委託し運営を適切に行いました。 ・経年による設備の故障などに伴い、5箇所の改修・修繕を行いました。 ・収蔵資料の内、節句人形2点の修繕を行いました。 ・かわらミュージアムにて、現代アートの展示を行いました。 【利用状況】 ・市立資料館 入館 13,520名 ・研修室、コワーキングスペース利用者 946名 ・重要文化財旧西川家住宅 入館 18,714名 ・かわらミュージアム 入館 47,334名 ・体験工房 3,914名、研修室利用者 2,204名									
項			05			社会教育費												
目			17			文化施設費												
予算額(千円)			29,812															
決算額(千円)			29,781															
(前年決算			29,740															
※主な特定財源																		
国庫支出金																		
県支出金																		
<事業概要>																		
指定管理者と連携を図り、適正な運営及び施設管理を行いました。また、資料館所蔵資料の活用や新たな研究成果を基にした展示を進めました。																		
70																		

事業CD	606501	事業名	資料館及びかわらミュージアム運営管理事業	所管課	文化振興課
------	--------	-----	----------------------	-----	-------



かわらミュージアムでの現代アート展示



台風被害による施設修繕、防犯カメラ取替工事後の様子

事業CD		784101		事業名	文化会館整備事業	所管課	文化振興課		
会計		一般会計				決算書頁	178	資料	無
款	10	教育費		<成果・実績> 【実施設計委託】 20,571,100円 文化会館改修工事設計業務委託、文化会館舞台照明・舞台機構等改修工事修正設計業務委託、文化会館外壁等改修工事修正設計業務委託、文化会館排煙設備改修工事設計業務委託 【改修工事】 300,069,000円 文化会館舞台照明及び舞台機構等改修工事、文化会館排煙設備改修工事 【監理委託】 9,900,000円 文化会館舞台照明・舞台機構等改修工事監理業務委託 上記事業を実施し、施設及び設備の適切な維持管理に努めました。					
項	05	社会教育費							
目	17	文化施設費							
予算額(千円)		330,541							
決算額(千円)		330,540							
(前年決算		225,319)							
※主な特定財源									
国庫支出金									
県支出金									
<事業概要> 文化会館の長寿命化対策を実施しました。									